



蒲郡文化

No.208

蒲郡市栄町3番30号

蒲郡市文化協会

TEL・FAX(0533)68-5509

URL <http://www.gamagorishibunkyo.jp>

E-mail g.bunka@lion.ocn.ne.jp

守る・つくる・育てる



前蒲郡市議会議長

文協特別会員

喚よび田た孝博

新年あけましておめでとうございます。皆様には、希望に満ちた輝かしい平成三十年の新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。本年は、陛下御即位三〇年の記念すべき年と共に、平成の元号最後の一年間となり、あわせて明治維新一五〇年の大きな節目の一年ともなります。本年が皆様にとりまして、よりいつそう飛躍の素晴らしい一年となりますことを心からお祈り申し上げます。

さて、今年の正月三が日には、多くの皆様が初詣にお出かけになられたことと存じます。中には、「竹島さん」こと八百富神社へ参詣された方もいらつしやることでしょう。昨年末からこの竹島の景観に変化があったことにお気づきになられたでしょうか…。

実は、昨年十一月五日に、地の青年団「府相六竹会」の皆様が、景勝地竹島の新たな冬の風物詩になればと、蒲郡観光協会はじめ八百富神社、関係機関のご理解とご協力をいただき、橋の手前の篠田遥拝所境内から沿道にある黒松約五〇本に菰巻きを行いました。



府相六竹会は、昭和四十六年に町内青年の親睦会として発足し、会員相互の交流と地域貢献事業を旨として活動してまいりました。これまでには、市民の健康づくりとしていち早くラジオ体操の普及活動に取り組み、昭和五十二年に行った「元旦ラジオ体操」は、蒲郡市ラジオ体操連盟に引き継がれ今年で四十二回目となりました。また、海のまちにふさわしい町おこし事業として「いかだレース大会」を実施してきました。

近年では、会員の減少もあつて、以前ほどの大掛かりな事業はなかなかできない状況ではありますが、少しでも地域に役立つことが出来ればと思ひ活動しております。

この菰巻きを行った松の中には、幹回りが三メートルを超えるものが二本あり、一体どれ程の歳月、竹島と共に白砂青松の景勝地を築きながら、この街を守り続けてきたものかと思ひ馳せるものであります。

昨年二月に、世界文化遺産・富士山の構成資産である三保の松原の折れた巨木「龍の松」が、直径約一メートルで樹齢二六〇年との報道がありました。このことからしても、世界文化遺産とは言わなくても、竹島と景観を一つにするこの無名の松たちを大切に保存し、守り続けていきたいものかと思ひを新たにさせられました。

折しも、観光地竹島界限では、水族館のリニューアル、ベイパーク竹島駐車場の舗装整備がされ、俊成苑では、四月に開園十周年を記念した新能の開催が予定され、市民による手づくり市も企画されるなど賑やかで楽しいイベントが準備されています。

これからも多くの人に携わっていただきながら、魅力ある蒲郡の観光・文化・景勝地としての竹島をみんなで守り、受け継ぎ、つくり、育て、後世に残していきたいものです。

第42回 愛知県文連美術展

平成29年9月27日(水)～10月1日(日) 愛知県美術館(蒲都市文協関係)

県議長賞



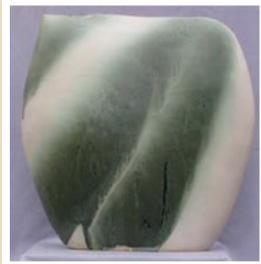
李白詩 三浦希韶

県教委賞



灰釉炭化鉢 壁谷和雄

奨励賞



清涼 杉浦 才



美術展賞

夜の海 内田明美

入 選 作 品



春 福澤邦典



古木 石井京子



ポインセチア 宇佐美勤



武陵源半夏生 早川青堂



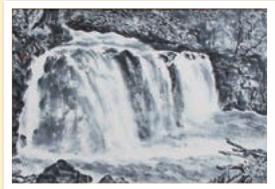
無心 藤田柴苑



ユリ 近藤佐代子



時を刻む花たち 小林陽子



瀑布 田中草紫



針切より… 近藤向華



華 市川勝代



半夏生 酒井みよ子



三谷祭海中渡御 原 勝久

ふるさと文化財(Ⅲ)

三谷祭と山車やま

三谷祭の由来は元禄九年(一六九〇)に庄屋佐左衛門が夢枕で海中渡御の神幸祭の形式を夢見たのが始まりで現在に至っている。

西ノ宮・八劔神社(日本武尊)は東ノ宮・若宮神社(応神天皇)の招待を受けて四台の山車を先導し若宮神社に至るものである。特に四台の山車が海中渡御をする天下の奇祭として名高い。三谷祭に各区の役割分担がある。

- 松区 神幸の儀式
- くぐり太鼓・ささ源氏
- 東区 神船若宮丸・子踊り
- 上区 劔の山車
- 素盞鳴の舞・子踊り
- 西区 恵比寿の山車・子踊り
- 神楽の舞・大名行列
- 北区 三蓋傘の山車
- 七福神踊り・子踊り
- 中区 花の山車
- 連獅子踊り・子踊り

山車運行の順番は、毎年決まっています、上区・西区・北区・中区の順となっています。



山車の四台は昭和32年に蒲郡市文化財に指定されている。また神船若宮丸は昭和36年に、松区の神輿は昭和44年に指定となり三谷祭も無形文化財に指定されている。伊勢湾台風以後海中渡御は中止されていたが平成八年から再開されて伝統が引き継がれている。

写真 遠山修司
文 林 正夫

NYに響く
コカリナの音色

コカリナアンサンブルドルフィン
代表 広浜洋子

音楽の殿堂のニューヨークカーネギーホールで二〇一七年十一月十二日(日)に初演奏する「日本コカリナアンサンブル」約百三十名と現地日本人学校の生徒と教員約百二十名と共に「命」をテーマにベートーベンの「歓喜の歌」など二十曲を演奏した。

東日本大震災の津波で生き残った「奇跡の一本松」から出来たコカリナや新国立競技場の建設のために伐採された木のコカリナを使用した。コンサートステージは「奇跡の一本松のチップから出来た布」でストールやポンチョを作り衣装として身に着け演奏した。

その前日、グラランドゼロへ慰霊のおまじりをしてきた。誕生日を迎えた石碑の名前に黄色のバラ一本が飾ってあった。

混沌とする世界情勢の近年において平和を希求する精神を発信し行動の原点としていこうとの思いがある。

「音楽は生の人間が心をこめて演奏し、観客と一体となり共感を得ることがあればいい。音楽の殿堂と言われるカーネギーホールは伝統の中に真摯に音楽を芸術として高める努力を絶えずしてコンサートを作り上げている。音楽監督のトニーさんに感謝したい。

「ホールの響きがすごく良くてお客さんも盛り上がり良かった」と笑顔で話す私の師匠の黒坂さんにも感謝したい。二〇一九年春に全国植樹祭が愛知県尾張旭市で行われる。コカリナを式典で演奏する日も近い。大会テーマ「木に託す もり・まち・人のあす・未来」国土緑化運動の中心の行事で記念植樹が行われる。



初心者のための文協講座

ちぎり絵教室

講師 大塚 幸子
参加者 17名



4回講座で2つの作品を作り上げ、市民文化祭に出品しました。

コカリナ教室

講師 広浜 洋子
参加者 14名



6歳から80歳までの男女混合で楽しい講座でした

市民文化祭



開会式典 11月3日
アトラクション 子供バレエ



詩吟コンクール入賞者	
市長賞	壁谷 純子
県議会議長賞	島田亜由美
県文協連合会賞	田中 章子
市議会議長賞	松山 武弘
市教育委員会賞	浅井喜代子
市文化協会賞	早川 次郎



箏曲演奏会
11月23日



芸能発表会
11月4日
5日

中ホールにて

二日にわたる発表会であったが、舞踊・吟剣詩舞・謡曲・民謡・雅楽・和太鼓・大正琴等、バラエティーにとみそれぞれ工夫をこらした内容となっていた。



洋楽発表会
11月19日



今回から洋楽は大ホールでの開催となり、大勢の参加者にのびのびと発表していただくことができた。



市民茶会

11月5日
表千家 三興庵
裏千家 大会議室
煎茶 中会議室



書道・工芸展 11月3日～5日

東ホールにて

書道126点、工芸144点、華道66点が展示され、またお花の会場ではお抹茶の接待もあり、両会場とも800人を超す参観者で賑わった。



華道展 11月18日・19日



皐月盆栽(大会議室)63点、
水石(中会議室)30点がバランスよく展示され
それぞれ400人近い参観者があった。

皐月盆栽展・水石展 11月18日・19日



市文化協会会長賞	市教育委員会賞	中日新聞社賞	商工会議所会頭賞	農業協同組合賞	市議会議長賞	市長賞	県文連賞	県教育委員会賞	県議会議長賞
内田 光大	青山 弘美	清水 正義	村松 捷二	西浦中学校	小林 春枝	飛田 正季	加藤トシ子	福井 敬子	河井 宏幸
榎山 利枝	金沢三千代	樋山 利枝	榎山 利枝	金沢三千代	樋山 利枝	榎山 利枝	金沢三千代	樋山 利枝	榎山 利枝

菊花展受賞者

市文化協会会長賞
市教育委員会賞
中日新聞社賞
商工会議所会頭賞
農業協同組合賞
市議会議長賞
市長賞
県文連賞
県教育委員会賞
県議会議長賞

内田 光大
青山 弘美
清水 正義
村松 捷二
西浦中学校
小林 春枝
飛田 正季
加藤トシ子
福井 敬子
河井 宏幸
金沢三千代
樋山 利枝

短歌会入賞者

県教育委員会賞 吉見 宏
 落し水いつにせんかと垂るる穂の一粒取りて実り確かむ
 県文化協会連合会賞 嶋田 稔
 存へし敗残兵のわが兄は靖国へ行く哭くだけに行く
 市長賞 三田 美奈子
 電話する勇気がでない消息を気遣ひにつつ髪きりにゆく
 市議会議長賞 鈴木 志満江
 医師たりし白衣の遺影わが婿を家族葬にて静かに送る
 市教育委員会賞 橋本 満寿代
 高次脳機能障害ある夫花の水やり日課となりぬ
 市教育委員会賞 山崎 俊子
 洗剤の香り残りし白きシーツ孫に添ひ寝の盆のこの夜
 市文化協会賞 稲吉 友江
 九十年生き来し母の大きな手黒くてごつくてされど好きな手
 市文化協会賞 加藤 芙美代
 朝の日の差しくる畑にわが長き影あざやかに井戸水を汲む
 佳作
 石田 文子 中村 文子 小野田初枝 鈴木 憲治
 本多 礼子 鈴木美耶子 吉見 幸子 太田 文子

俳句会募集句(学生の部)

市長賞 上村 幸聖 こま犬が秋のこもれ陽あびている
 市議会議長賞 角田 ゆい こま犬にふれて残暑の中にいる
 市教育委員会賞 尾崎 萌花 台風がみんなの自然をうばってく
 市文化協会賞 三浦 愛佳 力つき落葉がそつとおりてくる

俳句会入賞者(募集句の部)

県文化協会連合会賞 内田 陽子
 少年の倒立十歩秋高し
 市長賞 稲吉 園江
 庭師きて爽やかに空揚げゆく
 市議会議長賞 小田 紀美子
 故郷の駅は無人に鯛雲
 市教育委員会賞 嶋田 由美子
 敗戦忌地下道を来るハイヒール
 市文化協会賞 安野 悦子
 歳いつも若く言う母敬老日
 中日新聞社賞 犬飼 ヨシエ
 草虱つけて仲よしこよしかな
 中日新聞社賞 吉見 スミ
 語らねば忘るる戦夏の月
 蒲郡新聞社賞 渡辺 みつ子
 恵介の母恋ふ歌碑や小鳥来る
 蒲郡新聞社賞 杉浦 夏子
 大きめに握って頬ばる今年米
 高ポイント賞 牧野 多江子
 屋根神の柿つややか賜日和

俳句会入賞者(当日句の部)

県教育委員会賞 内田 陽子
 器量よきおかめを選び熊手買ふ
 市長賞 星野 ぎん
 八十路坂事なく超えてとろろ汁
 市議会議長賞 服部 孝子
 龍神の松ヶ枝照らす望の月
 市教育委員会賞 河井 文宏
 余生などあろうはず無しみかん切る
 市文化協会賞 市川 和子
 鮎落ちて峠の茶屋の店じまひ
 中日新聞社賞 加藤 教市
 朽ち舟を波のいたぶる冬の磯
 中日新聞社賞 長坂 將代
 快方の夫に小春の窓明かり
 蒲郡新聞社賞 市川 美智子
 這ひ這ひの赤子囲める縁小春
 蒲郡新聞社賞 三浦 くに代
 魚籠の鯨うわ目遣いに睨みけり

短歌投稿者 44名

俳句投稿者 一般83名 学生46名

たくさんのご応募

ありがとうございました。

文化財めぐり

十一月十五日(水)

今回の文化財めぐりは「源氏物語」のゆかりの地「清涼寺」・「野宮神社」・「廬山寺」を訪れる一日である。

朝七時、六十三名にて市民会館を出発。新名神高速道路で起きた事故の影響で予定より一時間遅れで清涼寺に到着。京都美術館の国宝展にご出張されていた御本尊「釈迦如来像」もお戻りになっており、その御前でお寺の起源などの



説明を聞いた。「釈迦如来像」は清涼寺式釈迦如来といい、頭は螺髪ではなく編み上げた縄状の髪を巻き上げ、通肩と呼ばれる衣文線の美しい衣をお召しになられている。霊宝館には光源氏のモデルとされる源融（みなもとのおる）が造らせた阿弥陀三尊座像の他に文殊・普賢菩薩像、兜跋毘沙門天像、四天王像などが安置されている。その阿弥陀仏は「光源氏写し顔」と言われるだけに誠に美しいお顔お姿の像である。書籍などでは紹介されていない像なので拝観出来たのは幸運であった。

野宮神社は源氏物語「賢木の舞台で「黒木の鳥居」という櫛の原木の鳥居と小柴垣に囲まれた小さなお宮だが、縁結びの神様であるのと、お宮から有名な「竹の小径」が続くので平日とは思えないほどの賑わいだっただった。

てられた天台宗のお寺である。「源氏物語執筆の地」と宣伝されているので「執筆の間はどこか？」と観光客によく尋ねられるが、そういった邸宅は一切残っていないとのこと。しかし、紫式部ゆかりの地らしく「源氏庭」と名付られた白砂の敷かれた美しい庭があり、初夏から初秋まで紫色の桔梗や竜胆が静かに花開くという。文化財めぐりの一行は、花こそ見ることはできなかつたが常緑の松や苔に楓などの紅葉が映えて、風情のある庭を眺めることができました。



廬山寺は紫式部が「源氏物語」を執筆した邸宅址に建

移りゆく世の中常に見つづけし
仏の慈悲の眼差し変わらず
齋藤とし子

市民文化祭

博物館ギャラリー会場



絵画展
11月10日~12日

水墨画73点、絵画47点、写真54点が部会ごとに廊下スペースを使ったり、花を飾ったりしてゆったりと見やすいようレイアウトされ、のべ千人以上の参観者があった。



水墨画展
11月3日~5日



写真展
11月17日~19日

お 知 ら せ

第7回文化事業 映画音楽&歌声喫茶Ⅱ

2月18日(日)

市民会館大ホール

開場13:00 開演13:30

《チケット発売中》

前売券 1,000円
(18歳以下500円)

当日券 1,500円
(18歳以下700円)

文協事務局又は市民会館窓口にて

月 例 茶 会

2月18日(日) 席主：桜木宗峯

3月11日(日) 席主：鈴木博翠

午前10時～午後3時

市民会館三興庵にて1席500円

田中瑞穂 指揮
ヴィルトオーソオーケストラ

映画音楽&歌声喫茶Ⅱ

シェルブールの雨傘 葛飾 ララルー 小さな世界 ひまわり 夜霧の忍びっこい ロミオとジュリエット シャレード
みかんの花さく丘 江戸の花嫁 ドレミの歌 高原列車は行く 月がとっても青いから プルーシャット るくてなし
ヤングマン 真知人 藤 ふるさと

美しい夢と希望の青春時代、よく遊び、ちょっと背伸びもした学生時代、懐かしい映画音楽と歌が涙とともに感動でよみがえります。

2018.2.18 Sun
13:00 開場 13:30 開演

蒲郡市民会館 大ホール

入場料 一般 前売 1,000円 当日 1,500円 (税込 全自由席)
18歳以下 前売 500円 当日 700円 (税込 全自由席)

■主催 蒲郡市文化協会
■共催 蒲郡市教育委員会

蒲郡市文化協会文化事業

チケット取り扱い 蒲郡市文化協会事務局 TEL0533-68-5509 蒲郡市民会館窓口 TEL0533-67-5151
お問い合わせ / 蒲郡市文化協会事務局(蒲郡市民会館内) TEL&FAX 0533-68-5509

図書館の催し物 (問合せ TEL69-3706)

写真展 よみがえる笑顔、カンボジアこれからの教育	1月13日(土)～28日(日)
企画展 わたしの思い出の「絵本」	2月 3日(土)～12日(月・祝)
土曜会墨彩画展	2月17日(土)～27日(火)
蒲郡切り絵同好会 第13回切り絵展	3月 1日(木)～ 4日(日)
道路老朽化対策パネル展	3月 6日(火)～13日(火)
懐かしの漫画展	3月15日(木)～25日(日)
企画展 出島の町絵師・川原慶賀 ～シーボルトの眼になった日本人～	3月28日(水)～4月13日(金)

博物館の催し物 (問合せ TEL68-1881)

蒲郡っ子作品展	1月26日(金)～28日(日)
第33回写真集団「雲」作品展	2月22日(木)～25日(日)
人権作品展	3月 8日(木)～14日(水)
手織場展	3月16日(金)～18日(日)
和紙ちぎり絵展	3月24日(土)・25日(日)
アトリエぱびえ作品展	4月 7日(土)・ 8日(日)
松下土佐海蒸気機関車写真展	4月11日(水)～15日(日)